

議題(1) 計画の数値目標の修正について

○修正提案理由

前回の会議において、数値目標の修正を提案時に、山川不動尊の入込客数24万人を反映させた数値を新指標とすべく提案したところ、基準値となる16.5万人に24万人を加え、本来であれば40万人を新基準とし、目標値を80万人として提案すべきところであった。(表の欄1)

しかし、(表の欄2)のとおり、前回示した表が誤っており、30万を基準として計算してしまったことや、そもそも論として、倍増計画とあるものの、本来提案すべき80万人という数値も現実的であろうか、という意見も出されたため、今回新たに修正案として提案する。

修正案は、当初の基準値、目標値にそれぞれ24万人を加えたものとするこで、現実的な数値を目標とする。(表の欄3)

	指 標	2018年 平成30年 (基準値)	2021年 令和3年 (目標値)	2024年 令和6年 (目標値)	指標の把握方法
現 行	観光入込客数	16.5万人	24.8万人	33万人	結城市観光客動態調査
1	観光入込客数	40万人	60万人	80万人	結城市観光客動態調査
2	観光入込客数	30万人	45万人	60万人	結城市観光客動態調査
3	観光入込客数	40万人	48万人	57万人	結城市観光客動態調査

議題(2)実施事業の検証について

○検証方法の設定

・基本目標の1～4それぞれにおいて、設定したKPI（重要業績評価指標）、事業の進捗状況、体感に基づき商工観光課において自己評価を行う。その評価が適切かどうかを当委員会内で審議を行い、正式な評価とする。

○評価指標の設定

指標名	アイコン	状態
千客万来		当年度に実施した事業も順調に達成し、KPIの指標も伸びている状態
大入り		事業は達成できたが、KPIの指標は今後の展開次第である状態
売り出し中		事業は達成したが、KPIの進捗に伸びが見られない状態
テコ入れ		事業の進捗が不完全である状態
閑古鳥		事業が未実施の状態

○評価の実施

基本目標1 観光客数の倍増を目指そう

K P I	観光入込客数H30年度183,800人 R元年度532,500人	
評 価	大入り	
短 評	山川不動尊の24万人を差し引いても順調な伸び。今後の事業展開にも期待。	
評 語	<p>事業例1 積極的な情報発信 市のホームページ、ツイッターなどへの情報の掲載を積極的に実施 観光協会ホームページにもゆでまんじゅう食べ歩きマップを新規に掲載 秘書課内にシティプロモーション係の新設 インスタグラムの開設、Y o u T u b eによる積極的な情報発信等</p> <p>事業例2 茨城国体及びインターハイ物産販売ブース出店、おもてなしボランティアガイドによる説明、結城ブランド認定者の出品 令和2年度のインターハイは中止</p> <p>事業例3 結城百選の厳選PR 結城百選見てあるき事業の実施 市の事業や観光協会事業としてさらなる資源の発掘、活用の検討</p> <p>事業例4 観光マップ・パンフレットの見直し メインパンフ1種、グルメ、歴史、伝統工芸のサブパンフを3種作成</p> <p>事業例5 イベントの開催 祭りゆうきは規模を縮小しながら1日のみ実施 きものd a y結城は規模を縮小しながらも2日間実施 令和2年さくら祭り、夏祭り中日イベント、盆踊り大会は中止 既存イベントの調整はアンケートの実施やヒアリングを重ね、調査検討</p> <p>事業例8 結城紬を活用した観光客誘致 伝統工芸館をはじめ民間の施設においても各種体験が可能な店舗が存在</p> <p>事業例9 結城蔵美館 常設展示、月替わりで作家の展示を行う 袖蔵において、第5回企画展、結城の歴史の証人たち料や近代資料の展示 今年度はコロナ禍による休館多数。今後の巻き返し策が肝要</p>	

評語	事業例 10 体験型観光 JRと連携した「よいとこプラン」でレタスの収穫体験、白菜の収穫体験を実施
	事業例 11 食の名物づくり 結城の地酒で乾杯条例推進協議会内の事業で日本酒に合うレシピを募集
	事業例 12 着物の良さを再認識するイベント きものday 結城を毎年実施 上記イベント以外でも着物着用率を上げる試みを模索
	事業例 13 御手杵の槍とオンラインゲームのコラボ ゲーム会社との繋がりを継続
	事業例 14 滞在型農業体験プログラムの検討 今後、実施主体に関する協議立案が必要

基本目標2 観光向け店舗・施設の倍増を目指そう

KPI	観光関連店舗数H30年度3店舗 R元年度3店舗	
評価	売り出し中	
短評	本計画に定義する関連店舗数は横ばいも、飲食を中心に新規出店があり新陳代謝が見られ、活気を含んでいる。	
評語	事業例 1, 2 若者の職づくり 創業支援事業 起業・創業支援セミナーの開催を委託 事業例 3、物産センター、観光案内所の役割の再定義 将来のDMO一元化に向けての調査検討を模索 事業例 4、観光型商店支援事業 市主導、協会主導などの選択肢を模索 事業例 5 空店舗活用事業 空店舗等活用事業補助金として新規出店に100万円、運営経費に50万円補助 事業例 6 TMO結城が行う事業及び運営支援 商店街と連携した各種イベントや情報発信の実施	

基本目標3 観光客の滞在時間(単価)の倍増を目指そう

K P I	平均滞在時間 H30年度2.7時間 R元年度3.5時間 平均消費額 H30年度694円 R元年度512円	
評価	テコ入れ	
短評	滞在時間、来客数は増加傾向もかえって単価を押し下げる結果に。 事業の困難さに加え、目立った成果も出ていない状況と考えられる。	
評語	<p>事業例1 駅北(駅前)通りの活性化 冬季にイルミネーションを実施も二の矢、三の矢に期待</p> <p>事業例2 演出の工夫による販売促進 各店舗が知恵を絞り顧客獲得に努めているも、一体感を醸成すべく官民一体となった見せ方売り方の提案・実施が必要</p> <p>事業例3 QRコード観光ガイド事業 観光ガイドマップに各種QRコード記載 観光スポットごとにQRコードの設置を検討</p> <p>事業例4 散策・自転車のコース設定と標示 WEB上で「ちゃりさんぽ」というコンテンツによるモデルコースを設定 利用促進に向けた取り組みが課題</p> <p>事業例5 試飲・試食・体験等の参加型観光コースの設定 民間店舗の協力が不可欠につき、協力店舗を募り、限定ツアーを実施するなどの方策が必要</p> <p>事業例6 レンタサイクルの充実 16台中2台を更新予定</p> <p>事業例7 交通基盤整備の検討 長期的なスパンでの検討が必要</p> <p>事業例8 二次交通の充実 市内巡回バスの土曜日運行開始。連動した観光振興事業の考案</p> <p>事業例10 出店チャレンジ支援 空店舗等活用事業補助金として新規出店に100万円、運営経費に50万円補助</p>	

	<p>事業例 1 1 広域連携を含めた観光ルートの設定 JRとの連携事業「よいとこプラン」において、筑西市、桜川市と共同で実施</p> <p>事業例 1 2 事業者に対する休業日の見学協力要請 まち案内の申し込みがあった際に、休日でも見学を行える施設も存在</p> <p>事業例 1 3 南部エリアの観光環境整備 計画開始以降抜本的な環境整備は未実施 魅力あるスポットも点在。今後の整備検討、ブラッシュアップ等が必要</p> <p>事業例 1 4 宿泊観光の推進 市内にも新規でコンテナ型ホテルが新規に出店 民泊については制度開始当時は実施を模索する動きも見られたが、コロナ禍もあり現状は不活発</p>
--	---

基本目標4 観光客の受け皿の倍増を目指そう

K P I	外国人観光客数 H30年度36人 R元年度68人 DMOの設置 H30年度未設置 R元年度未設置
評 価	テコ入れ 
短 評	コロナ禍によりインバウンド需要は壊滅的。 受け皿面でも市内保守層への意識改革浸透を図るも苦戦。
評 語	<p>事業例 1 タイ観光客の取り込み コロナ禍により実施困難</p> <p>事業例 2 「和」をテーマとした観光メニュー もともとが「和」テイストも、さらに踏み込んだ施策の検討を行う段階</p> <p>事業例 5 白鷗大学等と連携した情報発信 インターン生の受け入れなどを行い、本市を認知してもらう段階</p> <p>事業例 6 案内板の多言語化等の環境整備 結城紬のパンフレット、駅の案内板が6か国語に対応</p> <p>事業例 7 街なかの歓迎ムードの演出 冬季イルミネーションの点灯が、駅の北口南口とも実施 結城駅に、JR東日本が横断幕を設置する動き</p>

事業例 8 観光の担い手の増強

観光案内所がコロナ禍により閉館日が増え後退感

事業例 9 住民の意識改革

ワークショップや先進地事例紹介などの検討。地道な努力必要

事業例 10 結城版DMOの設置

令和3年度から市街地の活性化事業支援を担当する特命理事の設置

事業例 11 観光協会が行う観光振興事業への支援

新たに補助を増額するかどうかの検討

事業例 12 観光ガイド養成講座の開催

観光ボランティアガイド協会内の自己研鑽に委ねられている段階

事業例 13 市商業観光振興計画推進委員会の設置

令和2年度から本委員会を設置

議題(3) 令和3年度実施事業の報告について

○観光情報発信事業

- ・令和4年に放送が予定されている大河ドラマに、結城家初代当主、結城朝光が登場する予定であることから、関連する歴史コンテンツの発信を行い観光誘客の一助とする。

(実施内容) 結城朝光特設ホームページの開設
歴史講演会の実施
結城朝光展の実施
PRグッズの作成

○特命担当理事の配置

- ・市民と商工業者・農業者、行政が協働して地域活性化事業を実施するためにハード・ソフト面において、横断的に調整・企画を担当する特命担当理事を配置する。

(特命事項) 市街地の活性化事業支援
ふるさと結城応援寄附金事業推進

議題(4) 令和4年度実施事業の協議について

- 各基本目標に記された事業例を実行に移すには、令和3年度の市の実施計画に盛り込むことが予算化を実現するための第一歩です。優先的に行うべき事業があるか、現実的に実施可能な事業はあるか、意見を伺います。

議題(5) 意見交換